

県政に関する質問から(本会議の質問・答弁)

本会議では、4日間にわたって11人の議員が代表・一般質問を行い、県政が直面する課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各議員の全ての質問の動画を視聴できます。

9月19日

代表質問(要旨)



自民議連
よしきよすけ
吉井清介 議員
(尾道市)

人口減少対策

問 国全体の構造的な問題である東京一極集中の影響が顕著な本県は、若年層の転出超過に歯止めがかかっておらず、東京一極集中の是正には、全国的な取組が必要ではないか。また、本県の社会減対策をどう進めるのか。

答 東京一極集中の是正に向けては、地方の個別の施策に加え、日本全体で抜本的対策が必要であり、全国知事会と連携して取り組む。社会減対策については、若年層の社会減少要因の調査・分析結果を基に、市町とも意見交換し、既存施策のさらなる磨き上げや新たな取組の検討など、対策の再構築に早急に取り組む。

その他の質問項目

- 物価高対策
- 宿泊税
- 公共事業予算の確保
- 広島ドラゴンフライズの新たなリーナ構想
- 地域公共交通の確保
- 高度医療・人材育
- 成拠点の整備

など



民主県政会
まともゆたか
的場豊 議員
(福山市)

防災・減災対策

問 備蓄品等の迅速な提供に向け、物資の標準化や中国5県での広域備蓄と集約運用を進めるべきではないか。また、高齢者等が避難する福祉避難所の環境整備や市町の防災対策への支援策を伺う。

答 備蓄物資の標準化は、国の見直しを踏まえた検討を行い、広域備蓄は、各県の備蓄場所の分散化や広域支援協定により速やかに物資を提供する。また、福祉避難所の確保を進める市町担当者等向けガイドラインの作成や市町の個別避難計画作成に助言するアドバイザー派遣等の支援を行っており、今後も、防災・減災対策の強化に取り組む。

その他の質問項目

- 核兵器廃絶による持続可能で恒久平和な世界に向けて適切な価格転嫁
- 県内企業における労働単価の適切な価格転嫁
- 農村・里山を守るための農業生産基盤構築の施策
- 子育て支援・教育の機会均等にに向けた施策
- 教職員の配置問題と学校現場の働き方改革
- 医療的ケアが必要
- 子どもの支援策

など



9月20日代表質問(要旨)



公明党
くりはらしゅんじ
栗原俊二 議員
(広島市安佐南区)

被爆80年の広島県の取組方針

問 来年は被爆80年の節目を迎えるが、核兵器のない世界に向けて、どのようなアクションを起こし、国際社会へどう発信するのか。

答 被爆80年の機会を捉え、非人道性、安全保障、持続可能性の3つのアプローチによる取組を強化することとしており、来年は**パグウォッシュ会議**が20年ぶりに広島で開催されるため、広島市と連携し支援を検討する。様々な機会や手段を活用し、被爆地広島への思いを広く発信し、広島への平和のメッセージ性を最大限生かしながら、核兵器のない平和な世界の実現に向け、しっかりと取り組む。

その他の質問項目

- 宿泊税の導入
- 太田川水系の治水機能の強化
- 災害対応力の強化
- 人口減少・少子高齢化対策
- 介護支援専門員の人手不足対策
- 障がい者雇用の環境整備

など



9月20日

一般質問(要旨)



自民議連
やましたまもる
山下守 議員
(東広島市)

医療人材の適正配置

問 県内では、医師や看護師等の医療従事者数の地域格差や偏在により、救急医療体制の維持等が困難な地域があるが、持続可能な医療提供体制の確保に向けてどう対応するのか。

答 医療提供体制の構築には、医療人材の適正配置が重要であり、医師等の確保に加え、県全体の医師の配置調整を行う委員会を本年度中に立ち上げ、地域の拠点病院を中心に医師の配置・循環を行う地域医療ネットワークの全圏域への整備を進める。また、新たに広島県ナースセンターで看護補助者の職業紹介を開始するなど、今後も医療人材の偏在対策を進める。

その他の質問項目

- 中小企業の適切な価格転嫁に向けた環境整備
- 半導体産業の人材不足への対策
- 半導体産業の人材育成に向けた教育の推進
- 産業振興に資する道路網の強化
- 地域特性を生かしたまちづくりの推進
- 鳥獣被害対策を現実化する中間支援組織の体制構築

など



自民議連
かんだたかひろ
神田隆彦 議員
(呉市)

空き家対策における観光振興施策との連携

問 増加傾向にある空き家の解消に向け、JＲ沿線の空き家や周辺資源を活用した新たな滞在型観光を創出する等、県が計画策定の旗振り役となり、観光振興施策と空き家対策を連携させた取組を検討してはどうか。

答 空き家を多様な用途に活用することは地域活性化や観光振興につながるため、空き家等を宿泊施設や飲食店等に活用する取組支援等を行っている。また、地域単位での対策が重要であり、市町が重点的に空き家活用を図るエリアを指定できる新制度により、区域指定を促進し、空き家対策と観光振興施策の連携につなげていく。

その他の質問項目

- 空き家対策におけるスマートフォンセッションの活用
- 国立公園を活用した観光施策
- マイクログ水力発電の普及
- 出会い・結婚支援
- 18歳人口の県外流出
- 子育てや介護と仕事を両立できる県職員の職場環境

など



用語解説

個別避難計画

災害時に一人での避難が困難な避難行動要支援者(高齢者や障害者等)ごとに、避難支援を行う者や避難先等の情報を記載した計画。

用語解説

パグウォッシュ会議

核兵器と戦争の廃絶などについて、世界各国の科学者が議論する場として、1957年に始まった会議。1995年にはノーベル平和賞を受賞。

用語解説

マイクログ水力発電

河川、農業用水、砂防ダム、上下水道などの水の未利用エネルギーを有効活用して電気を作る発電出力が100kW以下の小規模な水力発電。

用語解説

ひろしまAIサンドボックス

県内外のAI開発者の参画による、県内企業や地域の課題に対するAIを活用した新しい解決策の開発支援事業。